

1 3 令和元年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 東京都立田柄高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 主幹教諭（教務部担当）＝事務局長、
主任教諭（生徒部担当）、主幹教諭（進路指導部担当）、
主任教諭（総務部担当）、経営企画室長 計 5 名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画課（室）長、主幹教諭（教務部担当）、主任教諭（生徒部担当）、
主幹教諭（進路指導部担当）、主任教諭（総務部担当） 計 7 名
- (4) 協議委員の構成
- | | | | |
|------------------|---------------|-------|--------|
| ①学識経験者（大学教授） | 跡見学園女子大学 | 教授 | 奥田 洋子 |
| ②近隣自治会 | 光が丘地区連合協議会 | 副会長 | 阿瀬見 宏 |
| ③近隣中学校長 | 練馬区立田柄中学校 | 校長 | 宮古 登 |
| ④近隣幼稚園園長 | 練馬区立光が丘さくら幼稚園 | 園長 | 日高 文子 |
| ⑤田柄高校 P T A | | 会長 | 島田 ゆかり |
| ⑥光が丘壮年ソフトボール連盟 | | 副会長 | 内山 巳喜男 |
| ⑦元都立高校校長 | | | 安井 幸生 |
| ⑧光が丘警察署スクールサポーター | | 門野 芳幸 | 計 8 名 |

2 令和元年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第 1～3 回）の開催日時、出席者、内容、その他
- 第 1 回 令和元年 5 月 1 0 日（金曜）内部委員 7 名、協議委員 6 名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出・委嘱、
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題、
本校の現状と課題等説明、各分掌（教務部・生徒部・進路指導部・総務部）説明、
意見交換
- 第 2 回 令和元年 1 0 月 1 1 日（金曜）内部委員 7 名、協議委員 6 名
これまでの教育活動に関する取組と報告、
各分掌（教務部・生徒部・進路指導部・総務部）報告、
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、意見交換
- 第 3 回 令和 2 年 2 月 1 8 日（火曜）内部委員 6 名、協議委員 6 名
これまでの教育活動に関する報告、
各分掌（教務部・生徒部・進路指導部・総務部）報告、
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
学校評価の報告及び学校運営に関する提言、協議、次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
- 第 1 回 令和元年 1 0 月 1 1 日（金曜）内部委員 2 名、協議委員 2 名
学校評価の基本方針の確認、今年度の学校評価の実施に向けた検討
今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討
- 第 2 回 令和 2 年 2 月 1 8 日（火曜）内部委員 2 名、協議委員 2 名
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
- | | | | |
|---------------|-------------|-------------|----------------|
| ・ 1 2 月 全校生徒 | 対象： 4 9 4 人 | 回収： 4 4 5 人 | 回収率： 9 0、1 % |
| ・ 1 2 月 保護者全員 | 対象： 4 9 4 人 | 回収： 1 7 1 人 | 回収率： 3 4、6 % |
| ・ 1 2 月 地域・住民 | 対象： 5 0 人 | 回収： 3 人 | 回収率： 6、0 % |
| ・ 1 2 月 教職員 | 対象： 4 0 人 | 回収： 4 0 人 | 回収率： 1 0 0、0 % |

(3) 主な評価項目

学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備、ライフ・ワーク・バランスの推進などの評価項目を、設定する。

(4) 評価結果の概要 (校長や学校全般への意見・提言内容)

①質問項目には、前回(平成30年度)と同内容だが、回答は「1:あてはまらない」「2:あまりあてはまらない」「3:あてはまる」「4:よくあてはまる」と順序を逆にし、更に「1」と「2」を否定評価、「3」と「4」を肯定評価として集計した。

②本校への満足度に関しては、今回も前回とほぼ同じ数値が出ている。

生徒:質問項目1:「本校に進学してよかった」

…肯定評価 69.2%・否定評価 30.3%【7位】

保護者:質問項目1:「子供を入学させて良かったと思う」

…肯定評価 78.9%・否定評価 19.9%【3位】

教職員:質問項目1:「多くの生徒は満足していると思う」

…肯定評価 55.0%・否定評価 45.0%【10位】

教職員の約半数が「生徒は本校に満足していない」とみている点に注目する必要がある。尚、保護者の肯定評価 78.9%は、回収約 34.6%での数値に留意する必要があるかもしれない。

(5) 評価結果の分析・考察 (校長や学校全般への意見・提言)

①今回生徒で肯定評価の数値が一番高かったのは、質問項目8:「校内でゴミを散らかしていしていない」{行程評価 90.3%・否定評価 9.7%}。だが、ごみ箱は無分別のゴミであふれ、さらに各所にゴミ入りのコンビニ・レジ袋が中身無分別状態で放置されているのが実態である。この数値は、残念ながら、生徒の、ごみを分別して所定の場所に捨てる意識の欠落を示唆しているかもしれない。

②今回保護者で肯定評価の数値が一番高かったのは、質問項目9:「教員は体罰のない指導を行っている」{肯定評価 92.4%・否定評価 5.8%}。更に、教職員では、質問項目3:「授業規律確立、服装について、学校方針に基づいて指導している。」・質問項目9:「体罰や暴言のない指導を行っている」は、各々肯定評価 100%となっている。だが一方で、生徒の側では、質問項目10:「先生は体罰をしていない」で否定評価が 14.4%の数値を示している{昨年度は 10.8%}。意見例では、生徒の一部に、生活指導等での教員の言動に対する強い反発があることも示されている。

③今回、否定評価が肯定評価を上回った唯一の例は、生徒に対する質問項目:9「部活動に積極的に参加している」…肯定評価 47.9%・否定評価 52.6%。活発に活動する部活動・同好会がある一方で、多くの部活動が低迷している状況をよく示す数値になっている。保護者の場合でも、質問項目5:「子供は部活動に積極的に参加している」…肯定評価 54.4%・否定評価 45.6%【10位】、教職員の場合も質問項目5:「部活動の充実を図っている」…肯定評価 55.0%・否定評価 45.0%【9位】と、低い数値を示している。残念ながら、本校の部活動が一部を除いて低迷しているという、生徒・保護者・教職員の共通認識が数値の上でも示されている。

④昨年度との比較ということで、肯定評価を高い数値から並べた比較表を作ってみたが、内容にはさほど大きな変化は出ていない。ランキング順に差があっても、いずれも前後1~2程度の変化に留まっている。唯一の例外が、教師の質問項目3:「授業規律の確立や学校の方針に基づく生活指導を行っている」で、昨年度は肯定評価 95.3%・否定評価 4.2%【4位】だったが、本年度は堂々の一位…肯定評価 100%に上昇している。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・授業改善・生徒指導及び部活動の活性化に向けた更なる指導の実施、充実が必要である。
- ・施設面での課題があるため、今後も計画的に施設面での改修に取り組む必要がある。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・本校の教育活動について地域住民の理解を得るため、更に情報提供の内容・方法を工夫し、ホームページ等を活用した広報活動も積極的に行っていく必要がある。
- ・学校の目標を明確にし、今後も教育活動を積極的に継続していくことが求められる。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 学校運営

- ・今回の学校評価を受け、学校経営計画に反映させる。
- ・生徒保護者に対して、学校の教育方針や活動についての情報を提供・説明し理解・協力を得る。

(2) 学習指導

- ・授業改善と授業規律を組織的・計画的に実施し、学力向上や生徒指導に繋げていく。
- ・アクティブ・ラーニングを取り入れた授業を展開し、生徒の主体的・対話的で深い学びに繋げていく。

(3) 特別活動

- ・教員、外部指導者等の部活動の指導体制を高め、活性化図り、新入生全員に部活動へ加入させる。2・3学年でも、途中から入部できる体制を構築し、部活動の活性化に繋げ、生徒の達成感・充実感を体感させる指導の実践を行う。
- ・平成30年度より、「駅伝大会」から「ロードレース大会」へと変換を図り、生徒の全参加を実現し続けている。

(4) 生活指導

- ・生活規律遵守・規範意識の意義を生徒に理解させ、教員の生徒指導に対する共通理解を深める。

(5) 進路指導

- ・3年間を見据えた系統的なキャリア教育を実践するための進路指導体制を構築する。
- ・総合的な探究の時間における「キャリアデザイン」の成果検証の枠組みを構築する。
- ・学力向上推進事業、土曜講習等の学力向上の成果検証を公表できる仕組みを構築する。

(6) 健康・安全

- ・教育相談体制の更なる充実と、様々な安全行事を計画的に実施して生徒の意識を高めていく。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 8人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
5	2					1

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議及び企画調整会議への参加実績はなし。

【成果】 職員会議や企画調整会議への参加実績はないものの、文化祭、授業公開日での見学などを通じて貴重なご意見を頂戴している。

8 その他

- ・保護者および地域・住民のアンケート回収率を高めるために、質問内容や回答項目を検討する必要がある。
- ・評価精度の更なる向上のため、学校公開の機会を増やしていく。